



しもながや

令和3年11月30日 発行

横浜市立下永谷小学校

かんがえるのっておもしろい

副校長 松本 未紀

学校から雪化粧をした富士山をくっきりと見ることができる日も多くなり、冬の気配が感じられるようになりました。運動会では5・6年生が各日の上級生として立派だったと多くの保護者の方からお褒めの言葉をいただきました。ありがとうございました。11月は、校外学習・出前授業・なかよし活動と今まで思うようにできなかった取り組みを徐々に行うことができました。1年生は久良岐公園まで徒歩で歩き、たくましい姿が見られました。2年生は野毛山動物園でグループ活動をし、仲間を思いやり協力をしていました。3年生は近くにある卵工場の方の話を聞く機会があったり、芸術鑑賞会では本物の楽器が奏でる音に触れたりしました。4年生は区の音楽会で学級ごとに美しい歌声を披露しました。子どもたちの学習が深まり、豊かになっている秋です。

今、5年生の教室の廊下には図工の作品が飾られています。題材名は「言葉から思いを広げて」詩や短歌・物語で出てきた言葉から感じたことを形や色・絵で表しています。ヒット曲から百人一首の短歌までさまざまな形で表現された言葉が、子どもたちを通して再構成された作品をととても楽しく鑑賞しました。ここでは5年生の教科書に載っている谷川俊太郎さんの「かんがえるのっておもしろい」の作品を受けて表現された4名の作品を紹介します。一つの同じ詩を読んでも心に残る言葉など受け取り方は様々です。そしてその感じた気持ちの表現は異なります。詩にもあるように他の人の違う感じ方に触れることによって「知らないきもちが かくれてて まえよりもっと すきになる」ことができるのでしょうか。同じ物事を見ても聞いても理解や感じ取り方はみんな様々です。考えも正誤も一つではないかもしれません。自分の気持ちや感じ方も大事です。そして人の考えや気持ちを受け取り、考えることが大切なことを子どもたちの作品から教えられました。

12月は人権週間があります。様々な立場や環境にある人々を理解することでより「みらいにむかって とんでいる」子どもたちを育てて参ります。「みんなのちからで そだってく」よう、引き続きご理解ご協力をお願いいたします。



かんがえるのっておもしろい
谷川 俊太郎

かんがえるのって おもしろい
どこかとおくへ いくみたい
知らないけしきが みえてきて
そらのあおさが ふかくなる
このおかのうえ このきょうしつは
みらいにむかって とんでいる

なかよくするって ふしぎだね
けんかするの も いいみたい
知らないきもちが かくれてて
まえよりもっと すきになる
このおかのうえ このがっこうは
みんなのちからで そだってく